

演習用事例「水道橋久さん」個別支援計画

利用者名 水道橋久 様

作成年月日： 年 月 日

総合的な援助の方針	引き続きグループホームでは生活上の様々な経験を積み、一人暮らしについて検討していき、就労移行支援では、本格的な就職活動を支援し、就労の実現を後押しします 暮らしの中で本人の楽しみを見つけてくれる手助けをし、潤いのある生活を目指します
------------------	---

長期目標（内容、期間等）	・働く自信がつき就職活動に取り組んでいる
短期目標（内容、期間等）	・一般就労して立派な男となるため、職場体験に積極的に参加する

具体的到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位
仕事の力をつけて、就職したい。	企業実習などを通じて、さらに働く自信を付けていきます。	希望職種を踏まえ、より多くの体験が出来るよう企業実習を調整します。 実習中は様子を確認して不安なく進められるようにします。	3ヶ月 頻度：月1ヶ所 実習期間：1週間前後	横浜（サビ管） 綾瀬（職業指導員）	1
楽しみを増やしていきたい。	社会人として必要なマナーや得意なスキルを身につけていきます。	就職を見据え、マナーや希望職種のスキルが身につくプログラムを提供します。	3ヶ月 月～金 週5日	横浜（サビ管） 綾瀬（職業指導員）	2
楽しみを増やしていきたい。	自分の楽しいことを話して、これまでに以上に余暇の楽しみを見つけていきます。	楽しいこと、困ったこと心配事があつた時はいつでも話を聞きます。	面談：月末に1回 13時～ 困った時・不安な時はいつでも	横浜（サビ管） 綾瀬（職業指導員）	3

年 月 日 利用者氏名

印

サービス管理責任者

印